

令和5年6月15日

東京総合美容専門学校
学校長 西口 啓子 様

学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員会報告書

2023年度学校関係者評価委員会につき、下記の通り報告します。

記

1 開催状況

日程 : 第4回学校関係者評価委員報告書 令和5年6月14日
会場 : 東京総合美容専門学校 会議室

2 報告内容

別紙の通り

以上

【別紙】

基準1 教育理念・目標

- ・70年にわたる歴史があるので問題がなく、学校長中心にうまくまとまっている印象。
- ・特に問題はなく、先生学生ともに良い雰囲気である。
- ・ミッション・ビジョン・バリューの意見交換は難しいだろうが、やっていくべきではあると思う。
- ・ミッション・ビジョン・バリューの明文化は良いと思う。

基準2 学校運営

- ・人員計画の策定、美容科、トータルビューティー科共に教えられる教員を見つけるのは難しいため、コマ毎で来られる先生を雇うのでも良いと思う。
- ・先生と事務職の評価体系、定量評価が難しいため、普段のコミュニケーションを大事にしてほしい。
- ・教職員は心身ともに良い状態で働いていることが伝わってくる。
- ・自由な発想と軸のある考え方のできる学生が多い印象。

基準3 教育活動

- ・大人数の中、国家試験合格率を高い水準で保っているのが良いと思う
- ・キャリア教育について、学生時代から大人になった時のことを想像できるため、今後退職が減ってきたり、人としての魅力が備わってきたりと、良い効果もあると思う。
- ・職業訓練的な要素が関わってくるため、分離しがちである学校とキャリアを結びつけるような良い教育だと思う。

基準4 学習成果

- ・有名店にこだわるのも良いが、給与面を考慮して就職活動を支援するのも良いと思う。
- ・卒業後の進路について把握するためには、学生とのコミュニケーションが大事だと思う。
- ・同じ業界にいるという観点から美容学校は卒業後も学生の繋がりが強いと推測できる。外的な属性ではない繋がり、同じ関心を持つ人たちのコミュニティは有意義なため大切にしたい。

基準5 学生支援

- ・退学の対策としてプレスクールは良いと思う
- ・修学支援を学校独自でやっている点はアピールポイントになると思う。
- ・退学者がゼロになることはないが、少なくする事は大切である。

基準6 教育環境

- ・掃除が行き届いている印象
- ・入口入ったときの印象が薄い、作品を展示する、ハロウィン、クリスマス等の行事を華やかにする等の工夫があっても良い。
- ・設備の問題についてはコロナも明けてきたため、ソフト面の充実も取り組んでみても良いと思う。

基準7 学生募集と受入れ

- ・学校が増え、学生が減っている中、学生募集はますます厳しい状況になると思う
- ・一都三県以外にも東北、関東の県についても考える必要あり地方の学生が戻ってくるのが課題
- ・留学生募集の必要性があり、それに対しての対策があるのは素晴らしいと思う。

基準8 財務

- ・入学者増、退学者減に引き続き取り組んでほしい。

基準9 法令等の遵守

- ・SNSの使用ポリシー、プライベートでの使い方には今後さらに注視してほしい。

基準10 社会貢献・地域貢献

- ・国際ビューティーコースについては、留学生を増やして、美容業界での就職につなげて頂きたい。